

オレンジカップ大会の開催における感染防止対策

〈JFA の新型コロナウィルスの影響下における競技会・試合運営の手引きを参考〉

【自宅～会場到着時】

- ① 知人、家族（祖父母・兄弟姉妹）などの帯同は避ける。
- ② 自宅を出る前に必ず検温する。（37.5℃以上は参加しない。発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合も参加しない。）
同居人や身近な人に感染が疑われる人がいる場合は参加しない。
- ③ 会場到着時は必ずマスクを着用。他選手との会話は必要以上にしない。
- ④ 会場到着時に手洗い、うがいを行う。石鹼は液体または泡石鹼を使用する。
- ⑤ チームの感染対策責任者は、当日の参加者全員（選手、スタッフ）に健康管理チェック同意書にあるチェック項目に従い、体調確認を行う。
確認後に健康管理チェックシート（同意書）に署名を行い提出する。
健康管理チェック項目に該当する者や体調が悪い者がいる場合は直ぐに帰宅させる。審判員、対戦チーム及び大会主催者に報告する。
- ⑥ 大会本部への挨拶は不要とする。
但し、到着後、速やかに上記⑤の健康管理チェック同意書の提出すること。
- ⑦ テント内には、アルコール消毒液等を準備し、座席などは1～2mの間隔をあけ、お互いが正面に向き合わない（座らない）よう十分にゆとりがもてるよう配慮する。
- ⑧ 各自で出したゴミは個々で収集し廃棄する。マスクや手袋などを着用し、ゴミはビニール袋等に入れて密閉して縛り、廃棄する。手袋を脱いだ後は石鹼で手洗いをする。

【ウォームアップ・練習時】

- ① 1.5～2mの間隔をあけ、個々でストレッチを行う。パートナーストレッチなどはしない。
- ② ランニングをする際には前後左右に十分な広さを保ち、並走で行う。横一列などの実施が望ましい。
- ③ ボールを使用する場合は、パスやシュート練習に限る。対面で行う場合は十分な広さを保ち行う。（コンタクトプレーが発生する練習はしない）
- ④ 練習中、声をかけあわない。
- ⑤ 練習後は手洗い、うがいを行い、マスクを着用する。
- ⑥ 飲料用のボトルの共用はしない。（各自がボトルを持参する）

【試合前～試合終了】

- ① ユニフォームの色、キックオフチームなどは下記の通りとする。
ユニフォームの色については、北側のベンチのチームが優先とする。
ユニフォームの色が類似色の場合は、南側のベンチのチームはビブス等を用意する。
キックオフチームについては、南側のベンチのチームとする。
試合開始は、ベンチ場所（北側ベンチチームは北ゴール側）スタートとする。
上記の事から試合前のコイントスはしない。
- ② 用具チェックは、監督またはコーチにてベンチ待機時に行い、審判員に確認完了を報告する。
- ③ 試合前のフェアプレーセレモニーは行わない。キックオフ前の円陣やハイタッチなどもしない。
- ④ 写真撮影はしない。
- ⑤ ベンチに入る者はマスクを着用。ベンチ内も1～2mの間隔（前後左右）をあけ、座席に座る。
十分な間隔を取れない場合は、この限りではないが、極力、間隔をあける。
- ⑥ 交代要員のユニフォームはビニール袋などにいれてベンチに置く。交代要員のビブスは使用後、個々に持ち帰り洗濯する。
- ⑦ 交代要員のアップは、選手同士が密集しないようを行う。一度に複数人のアップは控える。
- ⑧ ベンチ内では必要以上に会話はしない。テクニカルエリアでの戦術的な指示も控えるようにする。（大きな声は発しない）
- ⑨ 飲料用のボトルの共用はしない。（各自がボトルを持参する）
※熱中症対策に關係なく、飲水タイムを導入する。
- ⑩ クーラーボックスやアイスボックスなど複数の人が触るものは使用しない。
個々で用意することが望ましい。
- ⑪ ピッチ内でつばや口に含んだ水を吐かない。
- ⑫ 得点時にハイタッチや抱擁は行わない。
- ⑬ 交代時は、選手と審判員の間隔をあける。また、ハーフウェイラインでの交代時には選手同士のハイタッチや抱擁は行わない。
- ⑭ 倒れた選手に手を貸さない。
※怪我の重症度にもよるが、緊急性を要する場合はこの限りではない。
- ⑮ ハーフタイム時に指導者および選手全員が手洗い等を行う。

【試合終了後～自宅】

- ① 試合終了時は、フェアプレーセレモニーや両チームベンチへの挨拶はしない。
- ② 試合終了後は手洗い、うがいを行い、マスクを着用する。
ユニフォームは迅速に着替え速やかにビニール袋に入れ、バッグにしまう。
- ③ クールダウンはしない。
- ④ チームのミーティングはしない。早く会場から退出する。
複数の試合を同会場で開催する場合、複数のチームが重ならないよう時間的な配慮を行う。
- ⑤ 使用した備品類は使用後に消毒する。
- ⑥ 自宅到着後も手洗い、うがいを行う。体調が悪い場合はチーム代表者に連絡する。

【大会（試合）終了後】

- ① 会場退場前に指導者またはキャプテンは、大会本部に退場の報告を行うこと。
尚、各ブロックの1位には、賞状と楯、2位にチームには、賞状を渡します。
- ② 大会（試合）終了後5日を目途にチームの感染対策責任者（監督もしくは代表者）は、自チームの選手の体調確認（具合が悪い選手の有無）について大会事務局にメールで報告すること
チーム（感染症対策責任者）は、感染者が発生した場合に備え、参加者が健康管理チェックシートを記載し、一定の期間保管するよう促す。
万が一、大会終了後（帰宅後）14日以内に選手や指導者の中から新型コロナウィルス感染症の感染が判明した場合は、保健所の指示に従うとともに、大会運営責任者に当該選手の健康チェックシートの提出と報告を行うこと。

＜注意事項＞

万一、感染者が発生した場合は、大会の中止または中止する場合がございますので、ご了承を賜ります様、宜しくお願い致します。